

2026年1月29日

（お詫び）相鉄本線海老名駅における分岐器に対する速度制限（ATS-P）の誤設定について

相模鉄道株式会社

相模鉄道株（本社・横浜市西区、社長・千原 広司）では、相鉄本線海老名駅において、ATS-P 装置※の誤設定により、一部分岐器に対する速度制限が正常に動作しない状態となっていたことが判明いたしました。

当該事象については、速やかに設定を是正し、運行への安全性について問題がないことを確認しております。

ご利用のお客さまには、大変ご心配をおかけしましたこと、心よりお詫び申し上げます。

詳細は下記のとおりです。

※ATS-P 装置…地上設備から車両に信号機や分岐器までの距離情報を送信し、列車の位置と速度に応じて自動的にブレーキを動作させるバックアップ装置

記

1. 当該箇所

相鉄本線 海老名駅（1番線から出発するために通過する分岐器）

2. 概要

2026年1月17日（土）、海老名駅1番線の列車停止位置変更に伴い、ATS-P 装置の設定および設置位置を変更いたしました。

その後、2026年1月25日（日）、1番線から出発する列車において、分岐器に対する速度制限情報（速度パターン）が反映されない旨の報告を受け、現地にて ATS-P 装置の確認を実施した結果、一部設定に誤りがあったことが判明いたしました。

3. 原因

ホーム停止位置変更に伴い ATS-P 装置の設定を変更した際に、本来「上り用」として設定すべき速度制限情報を誤って「下り用」として設定したためです。

4. 対策

2026年1月25日（日）夜間作業にて、ATS-P 装置の設定を「上り用」に変更し、分岐器に対する速度制限が正常に動作するよう対応を実施いたしました。

今後、関係者と原因を検証し、再発防止に努めてまいります。

以上